

時計台記念病院・時計台記念クリニックを受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。研究への協力を希望されない場合は、下記お問い合わせ先までお知らせください。その場合でも、患者さまに不利益が生じることはありません。

※複数施設共同研究用

研究課題名	通所・外来リハビリテーションを利用している脳卒中片麻痺者の装具制動力による足関節機能の経時的变化について
当院の研究責任者	所属：理学療法科 氏名：小田 猛
他の研究機関および各施設の研究責任者	他の研究期間： 社会医療法人社団カレスサッポロよつば家庭医療クリニック 研究責任者： 池端 隆一
研究期間	倫理委員会承認後 ～ 西暦 2021年 6月 30日
研究の意義・目的	リハビリの際に製作される装具の多くは退院後も利用するものです。スタッフが装具を製作する際には、将来起こり得る足の変形や筋の緊張の変化を考慮した上で、最適な装具を製作する事が必要になります。 片麻痺を発症した方は、退院後において足関節が固くなる等の機能低下を生じやすいと言われていますが、退院後にリハビリを継続している方が同様に足関節の機能低下を生じているのかはよく分かっておりません。本研究では、退院後のリハビリの継続が足関節機能に及ぼす影響を知る事を目的とします。装具を製作する際に、適切な装具を選択する為の判断材料の一つとして役立つと考えています。
研究方法	《対象となる患者さま》 2008年3月以降に当院を退院し、当院通所・外来リハビリテーション、またはよつば家庭医療クリニックの通所リハビリを利用している、または利用していた脳卒中の方が対象です。 《利用する試料・情報》 退院時と、一番直前にリハビリの測定で得た検査結果を用います。 《研究方法》 退院時と直近の足関節機能を統計手法によって比較し、機能変化の有無・程度を検討します。

	<p>【他の研究機関に試料・情報を提供する場合の方法】</p> <p>個人情報を含む試料・情報については、可能な限り id をつけ匿名化します。匿名化された試料・情報と対応表は別々の場所で鍵をかけて保管し、他の研究期間に提供するものは匿名化された試料・情報のみとします。</p>
個人情報の取り扱い	<p>個人情報が入ったデータにはパスワードをかけ、厳重に保管します。また、紛失など起こさないよう、データ保管する場所を一定にして管理します。</p> <p>発表にあたり、個人が特定されるようなデータは公表致しません。</p> <p>【他の研究機関に試料・情報を提供する場合】</p> <p>個人情報を含む試料・情報については、可能な限り id をつけ匿名化します。匿名化された試料・情報と対応表は別々の場所で鍵をかけて保管し、他の研究期間に提供するものは匿名化された試料・情報のみとします。</p>
その他 (利益相反等)	<p>公開すべき利益相反関係にある企業などはありません。</p>
お問い合わせ先	<p>照会先および研究への協力を拒否する場合の連絡先</p> <p>社会医療法人 社団 カレスサッポロ 時計台記念病院</p> <p>担当者：医事課 鈴木</p> <p>〒060-0031 北海道札幌市中央区北 1 条東 1 丁目 2 番 3 号</p> <p>☎ (011) 251-1221</p>